

岩手県感染症週報

平成26年第39週(9月22日～9月28日)

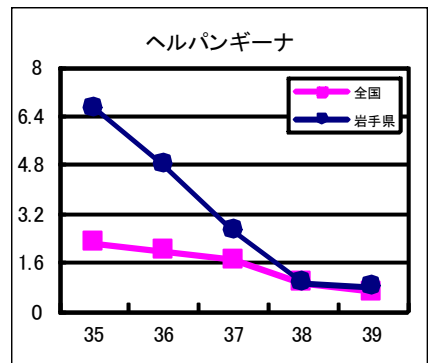
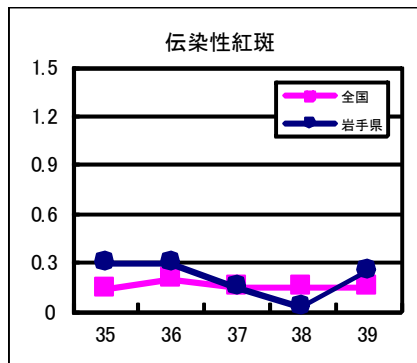
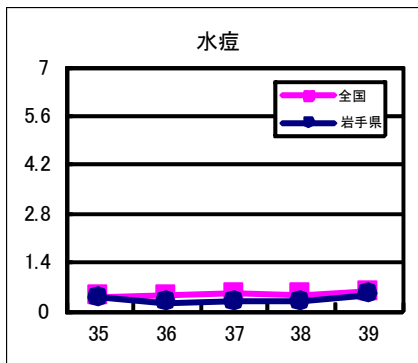
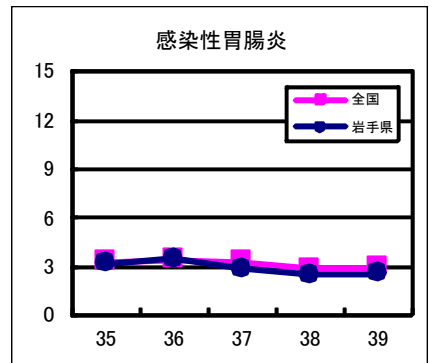
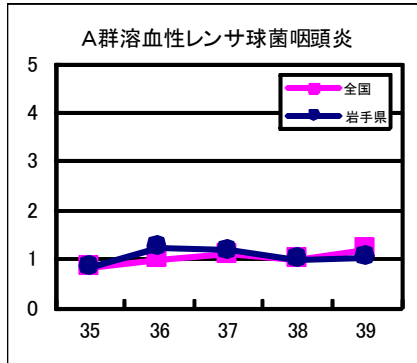
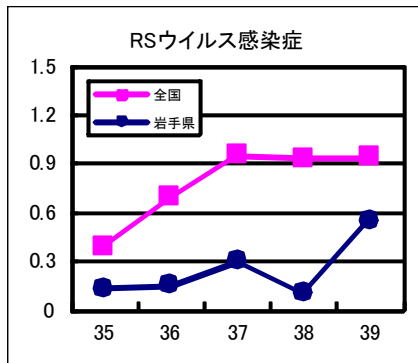
岩手県感染症情報センター

第39週の概要

- 1 類感染症 ・ 患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・ 結核の患者の報告が7例ありました。このうち、潜在性結核感染症の患者は、1例です。
- 3 類感染症 ・ 腸管出血性大腸菌感染症(O157など)は、県央地区より3例の報告があり、今年の累積報告数は121例となりました。10月に入ってからも、例年報告があるので引き続き注意が必要です。予防には一般的な食中毒予防対策に加え、食肉の十分な加熱、野菜の流水での洗浄などが重要です。
- 4 類感染症 ・ 患者発生の報告はありませんでした。
 ・ デング熱は、蚊を介して感染します。蚊の多い場所に行く時は、肌を露出せず虫除け剤を使用するなど、蚊に刺されないよう注意が必要です。デング熱に関する相談は最寄の保健所の相談窓口へ。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 ・ 患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 ・ R Sウイルス感染症は、前週より増加しました。患者の年齢はすべて2歳以下でした。飛沫および接触感染で感染します。急性の呼吸器症状を引き起こし、乳幼児では、細気管支炎や肺炎などを併発し呼吸困難を呈することがあるので注意が必要です。
 ・ 水痘(みずぼうそう)は、例年この時期から患者の増加が始まります。発病した場合、通常は軽症ですが、1歳未満と15歳以上では合併症の頻度が高くなります。予防にはワクチン接種が有効です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		35	36	37	38	39		
インフルエンザ	岩手県	0.02	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.05	0.04	0.07		
RSウイルス感染症	岩手県	0.13	0.15	0.3	0.1	0.55	↗	☆
	全国	0.39	0.69	0.95	0.93	0.94		
咽頭結膜熱	岩手県	0.05	0.13	0.08	0.18	0.1	→	☆
	全国	0.41	0.46	0.43	0.32	0.27		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.83	1.23	1.18	1	1.03	→	☆
	全国	0.83	0.99	1.09	0.99	1.19		
感染性胃腸炎	岩手県	3.2	3.5	2.88	2.53	2.6	→	☆
	全国	3.28	3.43	3.3	2.9	2.92		
水痘	岩手県	0.4	0.23	0.28	0.28	0.48	→	☆
	全国	0.42	0.45	0.5	0.46	0.56		
手足口病	岩手県	1.75	1.88	1.7	1.3	0.58	→	☆
	全国	1.03	1.11	1.11	0.83	0.66		
伝染性紅斑	岩手県	0.3	0.3	0.15	0.03	0.25	→	☆
	全国	0.14	0.2	0.15	0.15	0.15		
突発性発疹	岩手県	0.55	0.48	0.38	0.43	0.4	→	☆
	全国	0.64	0.65	0.61	0.54	0.55		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	6.68	4.8	2.65	0.95	0.8	→	☆
	全国	2.25	1.99	1.69	0.93	0.63		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.2	0.05	0.23	0.23	0.1	→	☆
	全国	0.3	0.27	0.31	0.29	0.29		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.29	0	0.21	0.29	→	☆
	全国	0.74	0.58	0.63	0.51	0.48		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.03	0.06	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.84	0.47	1.16	0.42	0.68	→	☆
	全国	0.24	0.23	0.3	0.24	0.28		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.00		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0		
	全国	1	3	5	1	3		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。 (患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		35	36	37	38	39	累計	39	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	0	4 (1)	2 (1)	2 (0)	7 (1)	205 (80)	339	19122
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	1	0	3	3	84
	腸管出血性大腸菌感染症	6	15	12	3	3	121	67	3408
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	4	40
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	14
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	3	1	108
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	0	400
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	15
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	8
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	1	56
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	10
	つつが虫病	0	2	0	0	0	5	0	115
	デング熱	0	1	0	0	0	1	11	292
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	7	160
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	1	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	10
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	51
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	1
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	1	0	0	0	5	23	914	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	24	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		35	36	37	38	39		39	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	1	0	0	1	0	12	9	827
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	180
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				0	0	0	8	12
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	1	358
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	1	1	85
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	4	127
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	4	205
	後天性免疫不全症候群	0	0	1	0	0	1	21	1126
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	2	46
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	149
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	26
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	1	0	0	0	7	11	1290
	水痘 (入院例)				0	0	0	6	8
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	8
	梅毒	0	0	0	0	0	2	15	1213
	播種性クリプトコックス症				0	0	0	2	2
	破傷風	0	0	0	0	0	4	1	101
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	38
	風しん	0	0	0	0	0	1	0	285
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	445	
薬剤耐性アシネトバクター感染症				0	0	0	0	0	
指定	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	

今注目の感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした、乳幼児を中心に夏に流行する急性ウイルス性感染症です。いわゆる夏かぜの代表的疾患です。今シーズンの岩手県での発生状況は、第35週は警報値 (定点あたり患者数6人) を超えましたが、第36週から減少しています (表1)。

病因となるウイルスは主にコクサッキーウイルスA群 (CA) 2、3、4、5、6、10型です。今シーズンの患者からの検出状況は、全国ではCA4が多く検出されており、岩手県ではCA4が検出されています。

ヘルパンギーナ 岩手県
2009-2014.38週

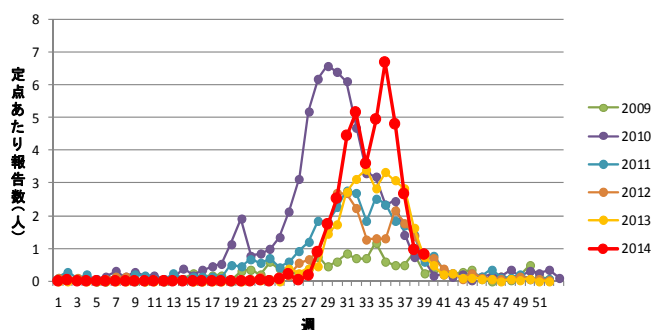
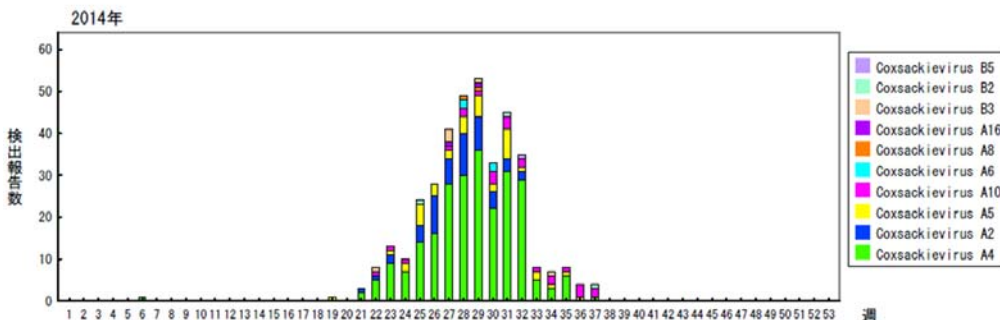


表1 ヘルパンギーナ週別報告数 岩手県 2009-2014

*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別 ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告数 (全国)

今注目の感染症 (つづき)

デング熱

デング熱は、主にネッタイシマカやヒトスジシマカ (写真1) が媒介するウイルス性の急性熱性感染症です。症状は、感染 (蚊に刺されてから) 2～15日 (多くは3～7日) 後、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れます。予後は比較的良好ですが、まれにデング出血熱やデング症候群に移行することがあります。

日本国内では1942～1945年にかけて流行しました。それ以降、海外のデング熱流行地域 (図1) からの輸入症例の報告はありますが、国内流行はありませんでした。(グラフ1は全国の届出状況)

平成26年8月26日、海外渡航歴がないデング熱の患者が確認され、国内でデング熱に感染したと考えられています (国内感染事例)。その後国内感染事例の報告が相次ぎ、10月1日現在で153名に達しています。

岩手県では、9月5日に国内感染事例が1例確認されています。一方、輸入症例は、平成11～26年8月までに3例発生しています (表1)。

蚊が多い場所に行くときは、肌を露出せず、虫除け剤を使用するなど、蚊に刺されないようにしましょう。また、蚊に刺されて、3～7日程度で発熱等の症状がある場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。

厚生労働省 デング熱について

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html

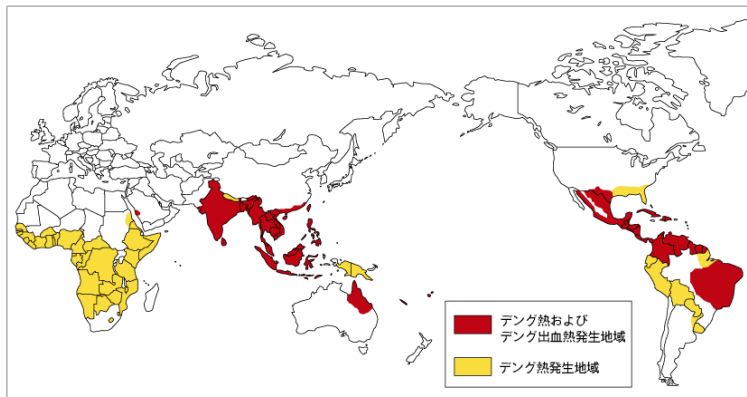
国立感染症研究所 デング熱とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>

岩手県相談窓口 (県内の各保健所)

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/jouhou/028388.html>

図1. デング熱・デング出血熱の発生地域 (WHO, CDC資料より作製)



吸血するのは雌蚊
 蚊の体内でのウイルスの増殖：7～10日
 活動範囲：50～100m
 寿命：成虫になって、30～40日
 活動時期：5月～11月
 国内分布：青森県以南の地域



ヒトスジシマカ
 国立感染症研究所昆虫医科学部

国立感染症研究所「デング熱とは」より

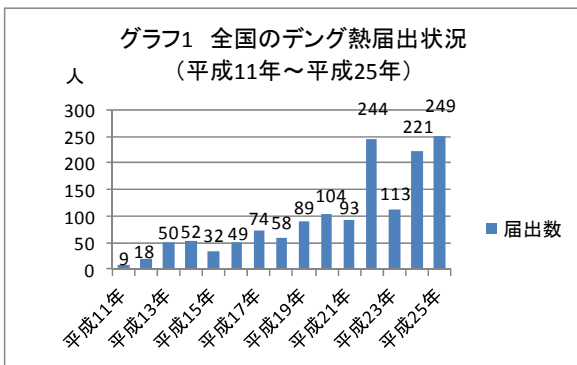


表1 デング熱届出状況 (岩手県 平成11年～平成26年8月)

診断日	届出保健所	性別	年齢	感染地域 (推定含む)
1 平成24年12月11日	一関	男	48	フィリピン
2 平成23年7月28日	盛岡市	男	46	バングラデシュ
3 平成21年8月25日	一関	女	16	フィリピン

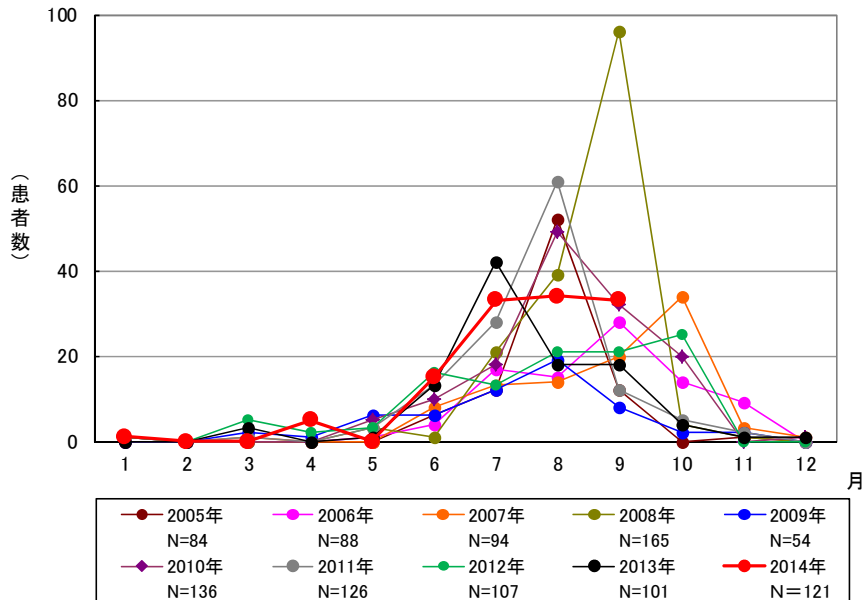
今注目の感染症 (つづき)

腸管出血性大腸菌感染症

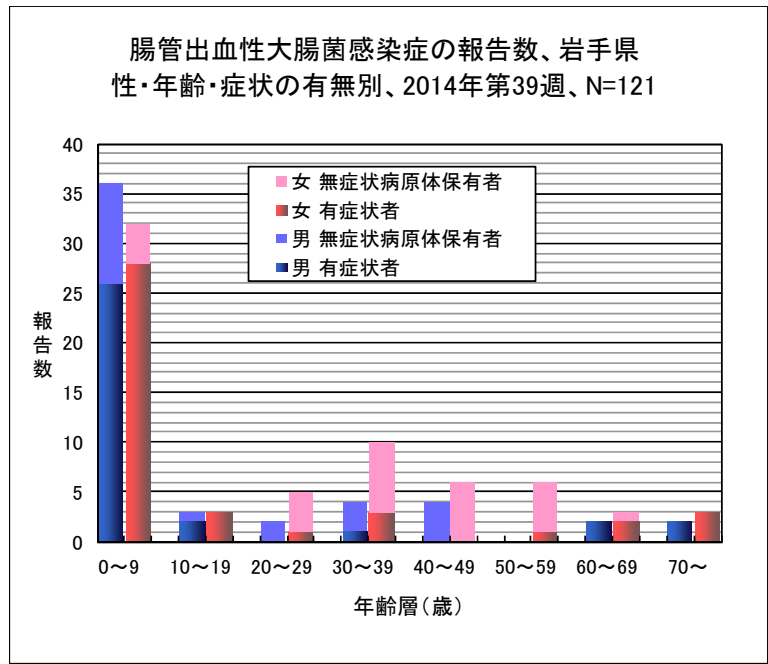
腸管出血性大腸菌感染症は、第39週までに121例の患者さんが報告されています。原因となった大腸菌は、O157が17例、O26が88例、O103が11例、O145が3例、その他が2例となっています。年齢層別では、0～9歳が68名、30～39歳が14名、40～49歳が10名の順に多くなっています。

予防には、食中毒予防の基本を守り、生レバーや加熱不十分な食肉等を食べないこと、野菜は流水で十分に洗うことが重要です。また、ヒトからヒトへの二次感染を予防するため、排便後・食事前の石けんと流水を用いた手洗いの励行も重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
(岩手県2005年～2014年)



腸管出血性大腸菌感染症の報告数、岩手県
性・年齢・症状の有無別、2014年第39週、N=121



病原体検出情報

- ・不明熱の患者の咽頭ぬぐい液から、パラインフルエンザウイルス3型を2件、ヒトヘルペスウイルス7型を1件、それぞれ検出しました。
- ・熱性けいれんの患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス4型を1件検出しました。
- ・発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、パラインフルエンザウイルス3型を1件、ヒトヘルペスウイルス6型を1件、ヒトヘルペスウイルス7型を2件、それぞれ検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、エコーウイルス11型を1件検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス4型を1件検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス4型を4件、アデノウイルス1型を1件、アデノウイルス2型を1件、それぞれ検出しました。

集団感染情報

- ・この週に集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

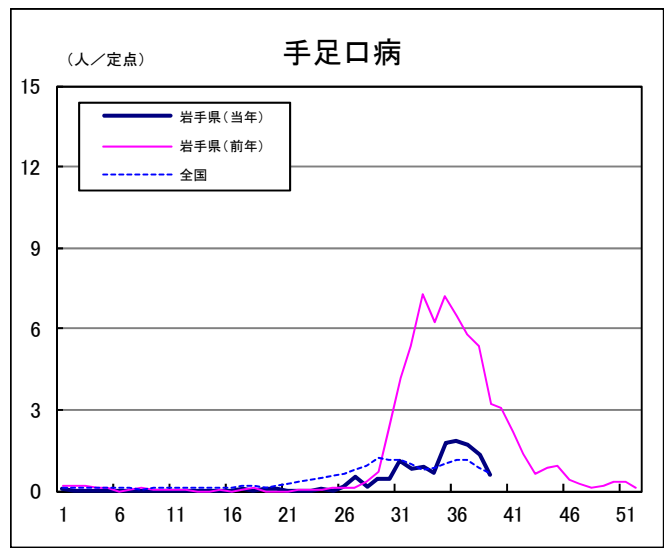
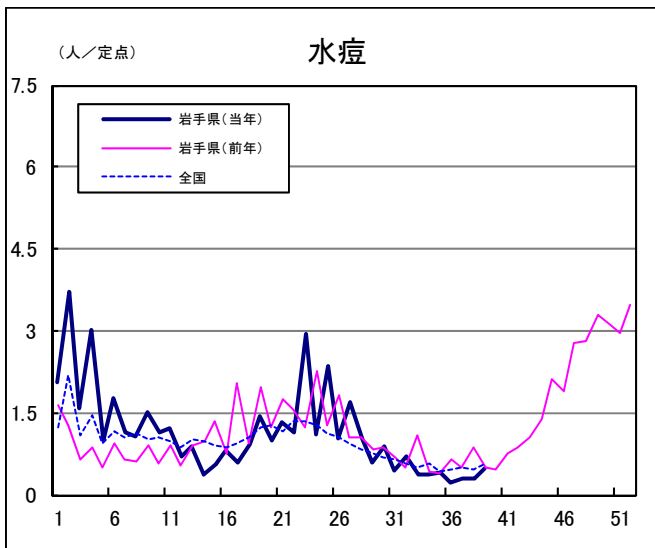
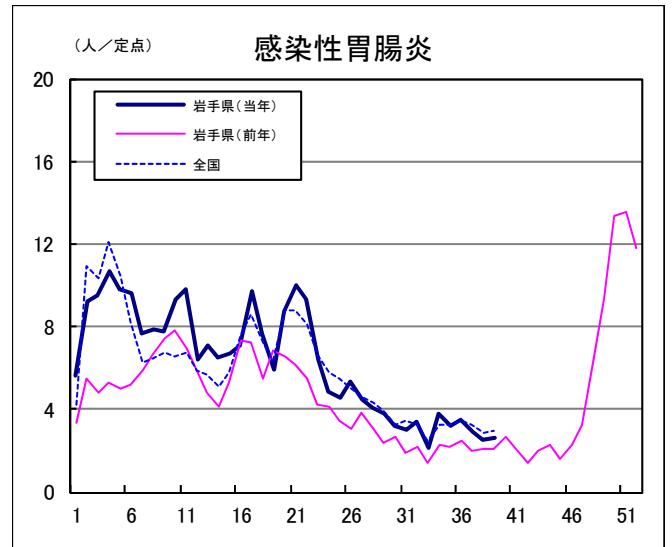
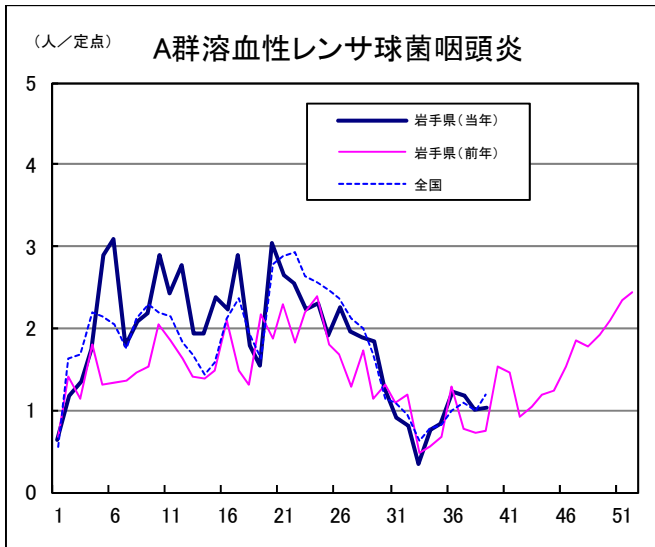
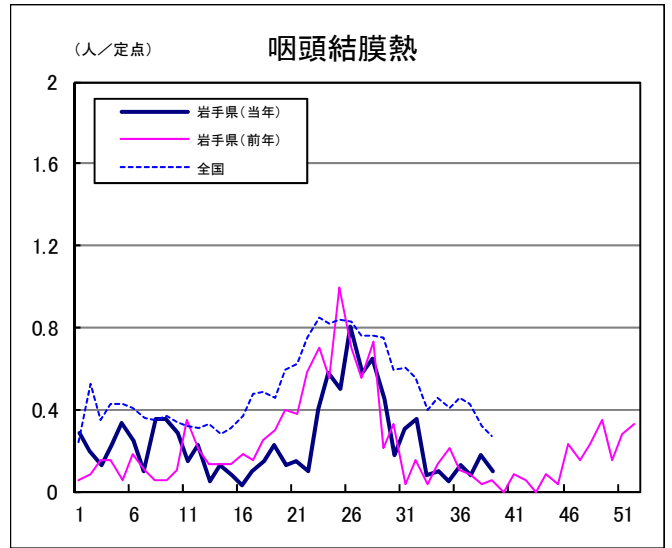
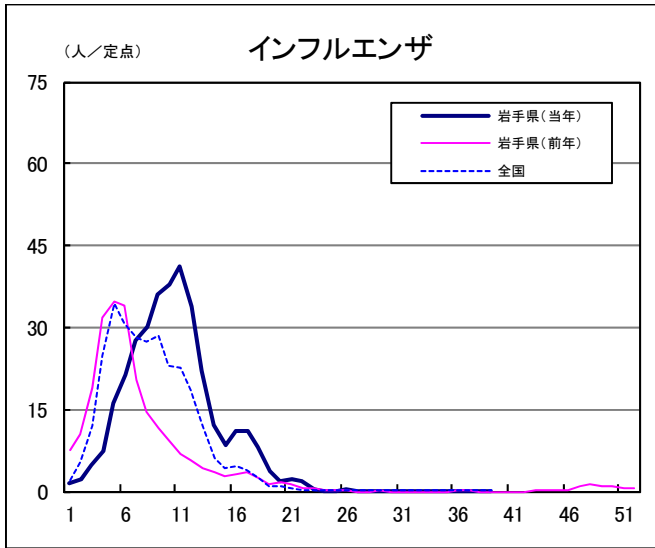
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

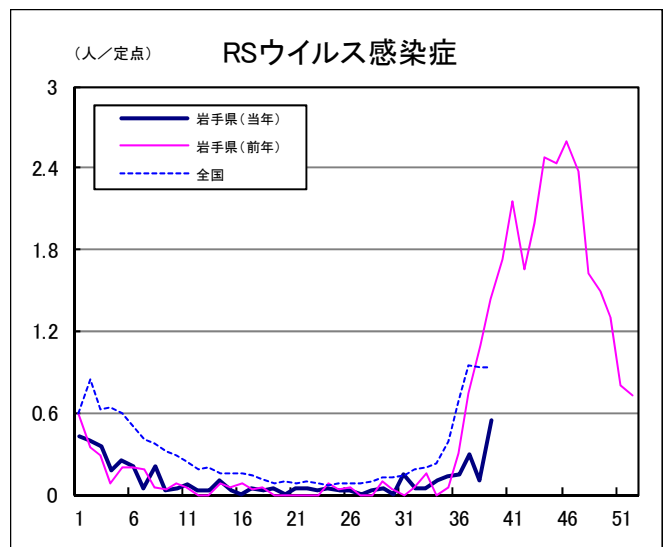
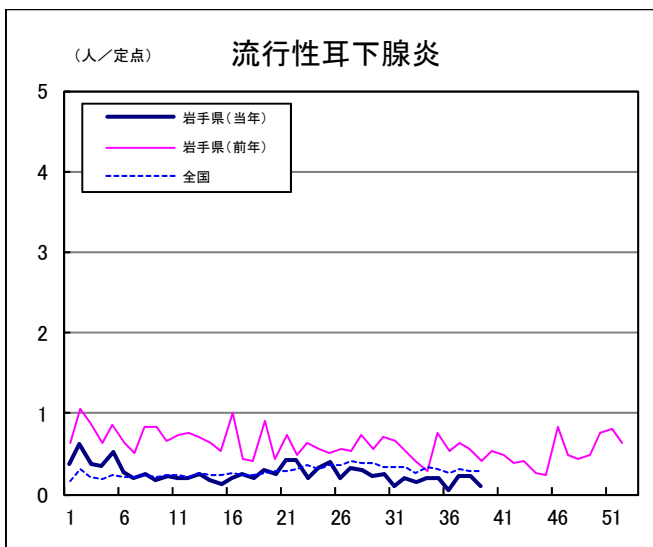
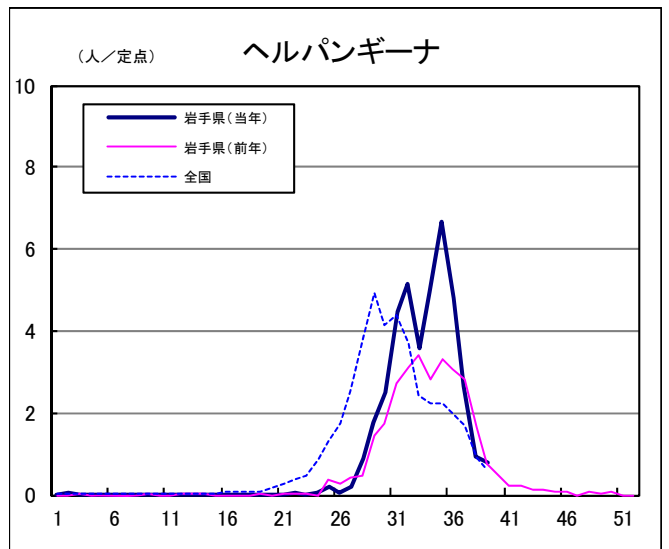
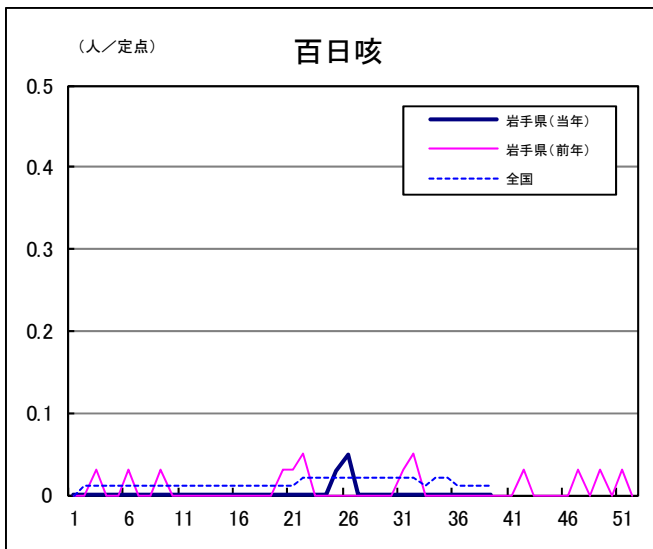
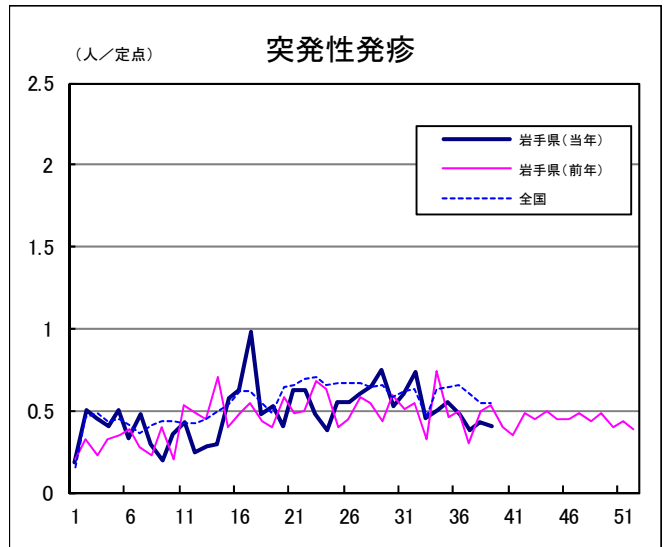
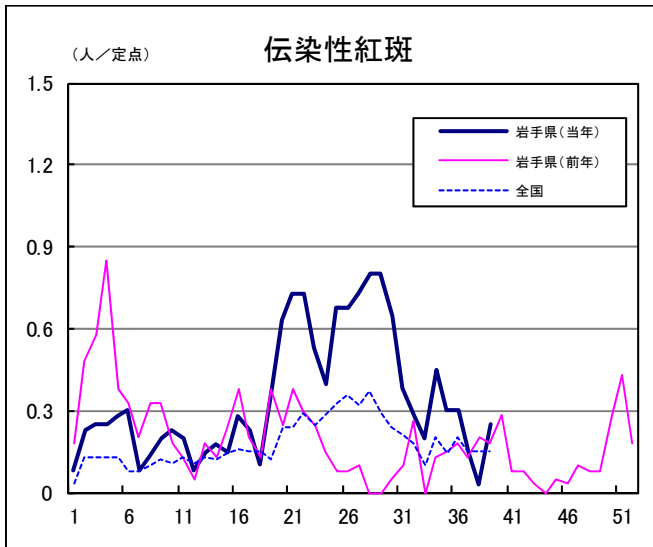
Q & A

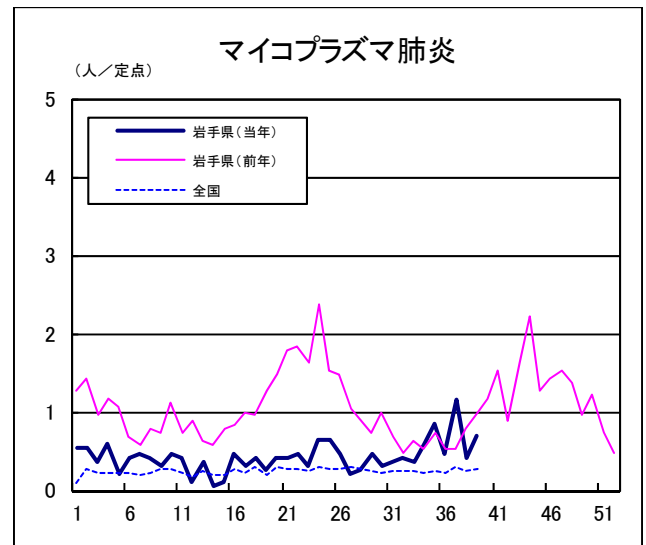
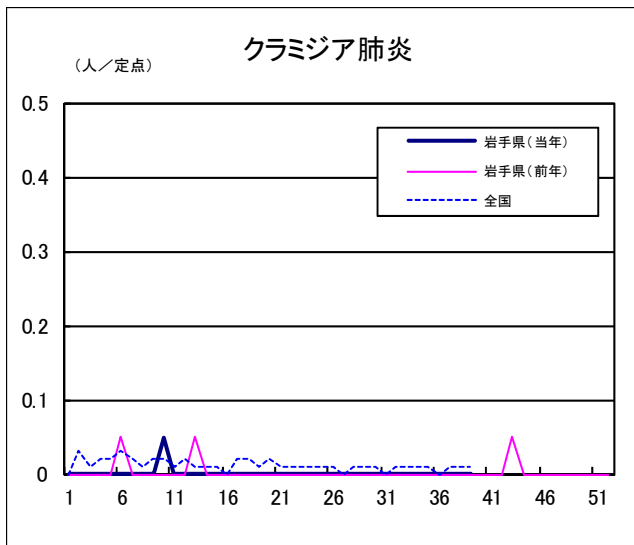
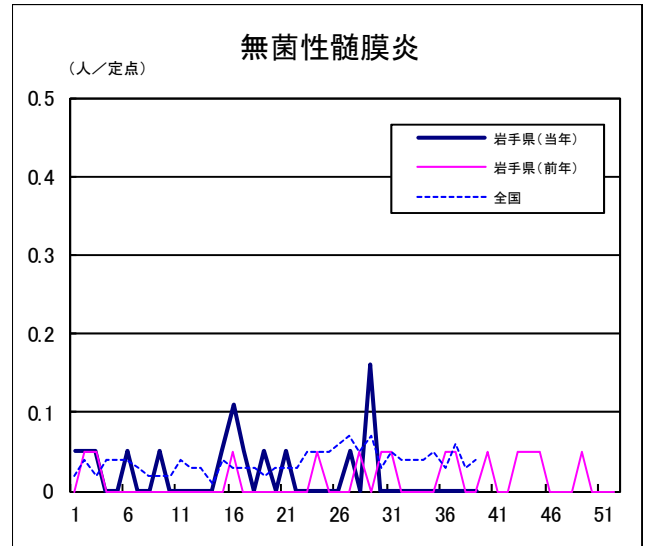
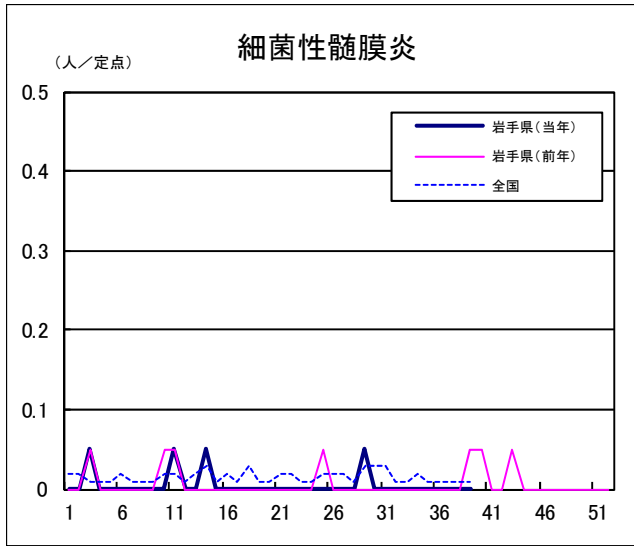
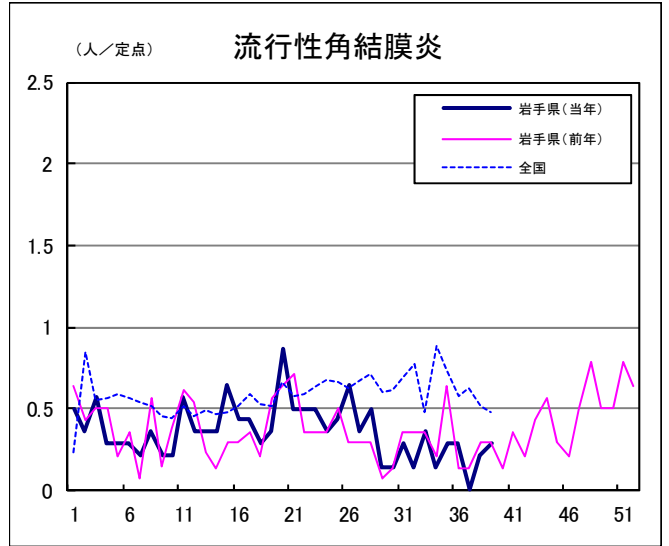
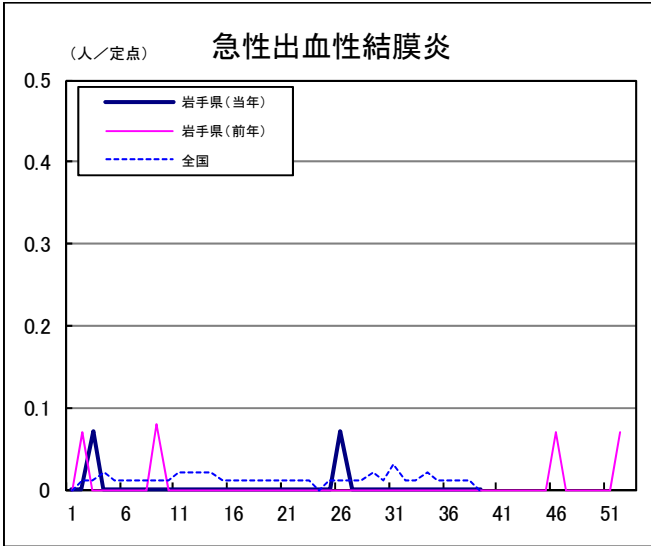
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		64	40	14	19
盛岡市		11	7	3	5
県央		7	5	2	0
中部		12	7	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		6	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第39週 平成26年10月3日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>